

たちかわの未来の環境を語ろう!

第1回たちかわ環境 市民ワークショップ ニュースレター

発行元 立川市環境下水道部環境対策課

立川市では現在、立川市第3次環境基本計画等の策定に向け、検討を進めています。策定にあたっては、社会情勢や市民の意識から、課題等をしっかりと把握する必要があると考えています。

また、地球温暖化がもたらす気候変動と多発する気象災害、ごみ・食品ロスの問題、生物多様性の損失や外来生物の増加などなど・・・身近な生活環境の問題から地球規模の環境問題まで、多くの問題を抱えており、立川市も様々な課題に直面しています。そんな立川市の環境をより良いものにして、みなさんと共に未来へつないでいくため、「目指すべき立川市の環境」について、語り合いたいという思いから、ワークショップを開催することとしました。

<開催概要>

1. 日時
令和6年1月20日(土)
13時から15時半
2. 場所
立川市役所内 会議室
3. 参加人数
16人

<プログラム>

1. 開会
2. ワークショップについて
3. グループ討論
4. 発表
5. 閉会

● ワークショップについて

ワークショップを実施する目的や今後の流れなどについて、市より説明を行いました。ワークショップとは、予定されていることを説明する説明会等とは異なり、参加者同士で考え、手を動かし、意見を交わすものであり、市はそこで出た結論を計画策定の参考とします。



● 本日の討議テーマと進め方について

激しく変化する昨今の環境問題について、「気候変動」「ごみ減量」「生物多様性」といった視点から情報提供するとともに、令和5年9月に実施したアンケート調査結果を以下のような説明スライドを使って、共有しました。また、本日の討議テーマを「環境」について興味を持っていること「立川市の環境の良いところ、悪いところ」に設定し、グループ討議の進め方を説明しました。

～説明スライド(一部抜粋)～



事前アンケートを基に、参加者の希望分野の3グループに分かれ、2つのテーマに沿ってグループ討論を実施しました。そこで出た意見や次回のワークショップで検討したいテーマを、各グループで模造紙に整理し、全体に向けて発表しました。概要は、以下のとおりです。

● グループ討論で出たご意見の抜粋 <「地球温暖化」グループの場合>

- ・立川市にある環境については、「みどり」に関する意見が多くでした。
- ・みどりを守り、増やしていくことは地球温暖化問題に通じていると思います。
- ・予防や見直しが必要と感じています。対策への取組状況は、「行政」は「行政」だけでやっていて、その他は、必要と思う人が各々で取り組んでいる印象があります。
- ・商工会でも環境コミュニケーション部会があり、取組を推進している。
- ・広報のインパクトがないと感じます。
- ・情報の取り方が難しいのではないのでしょうか。 ⇒ **次回のテーマ：コミュニケーションの仕組み**



● グループ討論で出たご意見の抜粋 <「ごみ減量・まちの美化」グループの場合>

- ・参加者のみなさんが「興味を持っている環境問題」については、主に、温暖化、異常な暑さ、防災、住みやすさなど多岐にわたっていました。
- ・立川市の良いところとして、「ごみが出ない街」ということをもっとアピールすべきという強い思いがありました。ごみの分別も進んでおり、立川市は「意識が高い」という結論にいたりました。
- ・都市のイメージがある中でも農業が進んでいたり、富士山が見えてよいなど、自然の豊かさも良いところとして多く挙がりました。



⇒ **次回のテーマ：①ごみの減量をもっと推進するためには、どうすればよいか？ ②情報発信の工夫**

● グループ討論で出たご意見の抜粋 <「自然環境保全」グループの場合>

- ・容器包装のごみをどのように減らすかについて議論になりました。
- ・立川市は「みどり」が豊かと感じます。どのように守っていけばよいか、考える必要があると思います。
- ・民家の樹木はどのように守ればいいのか、疑問に思います。
- ・子どもたちに触れさせる機会をもっとほしいと思います。



⇒ **次回のテーマ：みどりをまもる仕組みについて、行政だけがやるのではなくて、市民ができることはないか？ 緑の大切さを子どもたちなどに体験活動を通してどのように伝えればよいか？**

● 講評 <一橋大学 山下英俊先生>

- ・参加されている市民のみなさん自身が、考えて行動されている方が多かったように思います。
- ・「ごみ」グループでは、立川市の一人1日ごみ排出量は600gだが、自身は15gである、と情報を共有されている方がいらっしゃいました。
- ・「みどり」について、みなさんがかなり考えていることがうかがえた。具体的な提案も出ていたので、それらは、市の政策に活かしていただきたいと思います。
- ・最終的なアウトプットはかなり大きな話題になると思いますが、拾いきれなかった内容も、活かしていただきたいと思います。
- ・次回以降は、グループの分野にこだわらず、中身を掘り下げていくことでもよいと思います。
- ・共通の話題としては、「コミュニケーション」や「情報共有」だったので、市民のみなさまの視点で、掘り下げてほしいと思います。

